

初めての中層（四階建て）市営住宅

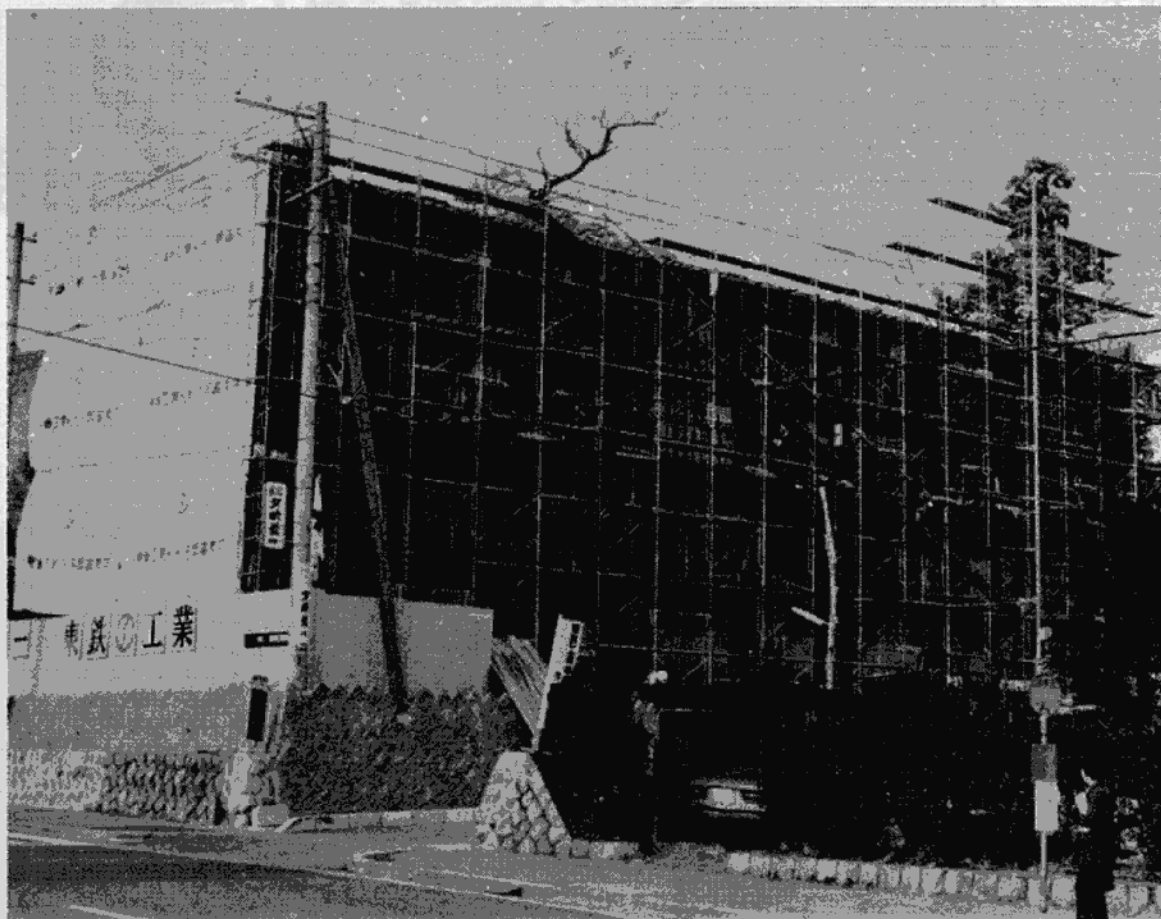
十六戸が三月に完成

花石町の市営住宅は、昨年からの四年計画で建て替え工事に入りましたが、初年度に当る三月末までには、古い住宅八戸を取り壊し、その跡に工事費約九千万円をかけて、四階建て十六戸を建設中です。この住宅の構造は、鉄筋コンク

リート造りで、一戸当りの床面積が六〇・四三平方メートル（六畳二間・洋間・DK）と、これまでの市営住宅と比べかなり広くなっています。新しくガス集中管理方式を取り入れ、トイレはすべて水洗になっています。また、消火せんを各

階ごとに取り付けるなど、入居者の利便と安全を考慮して設計されています。

この住宅は、昨年の十月二日に着工され、現在七割ほど工事が進んでいます。三月末には完成し、四月一日から入居できます。昭和五十二年にも十六戸建設され、五十三年度が二十四戸、五十四年度が十六戸で、全部で七十二戸の市営住宅が、花石町に建設される予定です。



完成間近い花石の市営住宅

新築工事進む

市立図書館・中央公民館

御幸町市営駐車場わきの市有地に建設中の、市立図書館・中央公民館

工事現場



民館の新築工事が着々と進んでいます。

総工費は、一億九千五百九十五万円で、総床面積は二、四五四・一平方メートルです。その内訳は、市立図書館の床面積が七〇二・九八平方メートル、中央公民館の床面積は九〇九・六〇平方メートル、市立図書館と中央公民館の共同床面積は三〇七・七三平方メートル、ピロティー（自転車置場など）の床面積が五三三・八〇平方メートルとなっています。

昭和五十一年度の設備費は、備品などの購入が一千六百四十五万三千元、図書購入として一千二百一十万円です。工事は今春完成し、中央公民館が、備品などをととのえて五月開館、市立図書館は、図書の整理が終るのをまつて八月に開館の予定です。

冬の運転は スリップ事故に注意



冬の間は、車の整備や点検を怠りがちですが、危険なスリップ事故をなくすため、ハンドルやブレーキなどに異常がないか、タイヤのへりぐあいはどうかなどの確認を忘れてはなりません。凍結した道路や雪道などは、急ブレーキをかけないですむような速度で車間距離を十分とって運転しましょう。チエーンやスノータイヤはどうしても必要ですが、これをつけても安心はできません。まわりの状況に応じた安全な速度で運転しましょう。